

学校給食費改定についてのご意見

1 意見募集の概要

(1) 意見募集の期間

令和5年12月11日(月)から令和5年12月31日(水)

(2) 周知方法

ア 市ホームページ

イ 各小中学校、保育園、幼稚園に安否確認システム緊急連絡網による一斉通知

(3) 公表方法

市ホームページへの掲載

(4) 意見の募集方法

電子メール

2 意見募集の結果

(1) 提出された意見 9件(うち容認は 7件)

(2) HP閲覧回数 ページビュー数 862(訪問者数 550)

(3) 説明動画閲覧回数

ア ダイジェスト版 212回

イ 詳細版 156回

(4) 提出された意見とそれに対する市の考え方

番号	ご意見・ご質問	回答
1	<p>給食費値上げのこと、昨今の情勢上仕方ないことだと理解はいたしますが、値上げと同時に現在の状況を県及び国にも強く申出をしていただきたいと思います。</p> <p>デジタルクーポンなどに予算を使うより必要なところに最優先に予算を使っていただきたいです。世の中の動きにあわせて、制度の見直しをお願いしたいです。給食費等、特定のことで予算を使うと不公平という意見もあるかもしれませんが、デジタルクーポンにしても、ぱっと見は公平ですが、年齢層の高い方々には使用が難しく公平とは言えません。</p> <p>誰もが食べてきた給食です。今は共働きも当たり前でご飯を作るのも大変で、給食は栄養も考えてあり、とても助けられている親御さんも多いと思います。</p> <p>給食費だけ特別扱いしてほしいというわけではありませんが、全体をみて必要なところに必要なお金を使っただけであればと思います。</p>	<p>この度は、給食費の値上げについてご理解を賜り、また、ご意見をいただきましたこと、ありがとうございます。</p> <p>国においても急激な物価高騰に対する支援策が検討されている現状におきまして、県及び国の動向には注視してまいりたいと考えております。</p> <p>引き続き、安全で安心なおいしい給食の提供を実施してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

番号	ご意見・ご質問	回答
2	<p>中学から給食費値上げについて検討している旨、連絡が来しました。</p> <p>昨今の情勢から食材の値上げ、調達の大変さはわかりますし、現状の給食費では難しいことは理解できます。</p> <p>しかし、近隣市町村では給食費無償化を進めています。</p> <p>全国各地でも無償化の自治体がふえつつあります。</p> <p>佐久市はなぜ無償にならないのでしょうか？</p> <p>給食費を上げるのであればそのあたりを、みんなが納得できるようにしっかりと説明してください。</p> <p>無償化に出来ないなら現状維持をすべきだと思います。</p> <p>時代に逆行していると思えない。</p>	<p>日頃より、学校給食の運営につきまして、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。</p> <p>また、現在の給食費での給食の維持が困難であることに對し、ご理解いただきありがとうございます。</p> <p>佐久市において、給食費の無償化を図ろうとする場合には、保護者の皆様にご負担をいただいている約4億円規模の財源を毎年度確保しなくてはなりません。</p> <p>これを市がすべて単独財源で賄うことは難しく、国の財政支援等が見込めない限り、給食費の無償化は現実的には難しいものと考えております。</p> <p>現状におきましては、国における支援策や無償化についての議論も行われていることから、こうした国の動向を注視してまいります。</p> <p>引き続き、安全で安心なおいしい給食の提供を実施してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしく願いいたします。</p>
3	<p>給食費の改定に関しては、仕方ないと思えますし、承知できます。が、新年度になってから、子どもたちが毎日のように給食が美味しくない、食べられなかった、と言っています。(他のお母さんともそういう話しになります) 料金の改定により、そのあたりも改善できるのでしょうか？</p> <p>給食は子どもたちにとって楽しい時間のはずです。でも家の子たちにとっては時に苦痛な時間のようなのです。料金同様、そのあたりもご検討くださいますよう、何卒よろしく願い致します。</p>	<p>日頃、学校給食の運営に関しまして、ご理解、ご協力を賜りありがとうございます。</p> <p>また、この度は、給食費の改定に関しまして、ご理解いただきありがとうございます。</p> <p>いただいたご意見につきましてはセンターと共有し、料金の改定を「おいしい給食」に反映するよう努めてまいります。</p> <p>今後とも、安全で安心なよりおいしい給食の提供に努めてまいりますのでよろしく願いいたします。</p>

番号	ご意見・ご質問	回答
4	<p>いつも美味しい給食をありがとうございます。 給食費の値上げをしてもらっても大丈夫です。 こどもたちの1番の楽しみである給食、 育ち盛りの今しかない、栄養価のある美味しい給食を提供しただけに、高い価値があると考えています。お金は上がってもよいので、美味しい、もう一品が増えることを切に願います。よろしく願います。</p>	<p>日頃、学校給食の運営に関しまして、ご理解、ご協力を賜りありがとうございます。 また、この度は、給食費の改定に関しまして、ご理解いただきありがとうございます。 今後とも、安全で安心なよりおいしい給食の提供に努めてまいりますのでよろしく願います。</p>
5	<p>金額を上げるのは良いが、添加物が無い食材にしてもらいたい。</p>	<p>この度は貴重なご意見を賜りありがとうございます。 今後とも、安全で安心なよりおいしい給食の提供に努めてまいりますのでご理解、ご協力のほどよろしく願います。</p>
6	<p>まず、氏名や学校名は記載せずに意見を広く募集した方が良く考えます。個人名を書くことで、意見を言いつらいという方がたくさんいます。</p> <p>給食費の改定について ①給食内容の変更は？ まず、東京などでは給食に牛乳がでないことも多い。アレルギーや乳糖不耐症の問題、リーキーガット症候群などの理由により、昨今では牛乳は万人にとってプラスになるものではないとの考え方もある。わざわざ給食で出す必要はなく、麦茶の提供、または水筒持参でよい。</p> <p>②給食は選択制にしてほしい 給食の内容をしてみると、冷凍食品や加工品と思われるものも多く、お金を払ってまで食べさせたいと思えないものもある。 給食費を安くおさえるために、食品添加物の多い冷凍食品や加工品を使用するのは本末転倒。 全員が同じものを食べなければならない理由はなく、弁当を持参するか、給食を食べるかを選択できるようにしてほしい。 自分の食べるものを選択できないのは、おかしいと思う。</p>	<p>この度は貴重なご意見を賜りありがとうございます。 ご提案につきましては、今後の給食運営の参考とさせていただきます。 また、ご家族の都合により、ご家庭から弁当を持参する等、給食の提供を望まない場合は、学校に相談して頂き給食を停止することも可能です。</p>

番号	ご意見・ご質問	回答
7	無料化している学校があるにも関わらず佐久市は、何故値上げをするのか…無料化にはならないのか？	<p>この度は貴重なご意見を賜りありがとうございます。</p> <p>学校給食法第11条では、学校給食の実施に必要な施設・設備に係る経費、運営に必要な経費は学校設置者が負担をし、それ以外に学校給食に要する経費（食材費）については、「児童生徒の保護者」が負担するとしています。</p> <p>佐久市では学校給食における実費分となる食材費につきましては、受益者負担の原則を大前提とし、保護者の皆様にご負担いただいています。</p> <p>給食費の無償化につきましては、保護者の皆様にご負担をいただいている約4億円規模の財源を毎年度確保しなくてはなりません。</p> <p>これを市がすべて単独財源で賄うことは難しく、国の財政支援等が見込めない限り、給食費の無償化は現実的には難しいものと考えております。</p> <p>現状におきましては、国における支援策や無償化についての議論も行われていることから、こうした国の動向を注視してまいります。</p> <p>引き続き、安全で安心なおいしい給食の提供を実施してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

番号	ご意見・ご質問	回答
8	<p>いつもお世話になっております。</p> <p>給食費の値上げの件でお願いを申し上げます。</p> <p>値上げについては物価の上昇等で仕方がないと思います。</p> <p>近年給食費無償化をする自治体が増えております。佐久市の周辺町村でも広がっております。それにもかかわらず、佐久市は無償化どころか値上げ分も保護者負担をしようとされております。値上げ分の半額を負担しようとはしておりますが、小諸市は値上げ分は小諸市の負担になっています。</p> <p>佐久市についても、いきなりの全額無償化は無理だと思いますが、給食費全体の半額を負担するなどの少子化だからできる子育て支援を考えていただきたいと思います。</p> <p>何でも保護者負担の時代ではないです。</p> <p>一考をお願いします。</p>	<p>この度は貴重なご意見を賜りありがとうございます。</p> <p>学校給食法第11条では、学校給食の実施に必要な施設・設備に係る経費、運営に必要な経費は学校設置者が負担をし、それ以外に学校給食に要する経費（食材費）については、「児童生徒の保護者」が負担するとしています。</p> <p>佐久市では学校給食における実費分となる食材費につきましては、受益者負担の原則を大前提とし、保護者の皆様にご負担いただいております。</p> <p>給食費の無償化につきましては、保護者の皆様にご負担をいただいている約4億円規模の財源を毎年度確保しなくてはなりません。</p> <p>これを市がすべて単独財源で賄うことは難しく、国の財政支援等が見込めない限り、給食費の無償化は現実的には難しいものと考えております。</p> <p>現状におきましては、国における支援策や無償化についての議論も行われていることから、こうした国の動向を注視してまいります。</p> <p>引き続き、安全で安心なおいしい給食の提供を実施してまいりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。</p>

番号	ご意見・ご質問	回答
9	<p>今年も毎日給食を頂くことができ、本当に感謝しています。栄養面だけでなく、季節、伝統、地元野菜、食費等々いろいろ工夫して下さっていることも大変有り難く思います。ありがとうございます。</p> <p>物価高騰により給食費を値上げすることには、賛成です。</p> <p>一つ、みんなで考えていきたいのは、残飯をなるべくなくしたい、ということです。食べ切れる分を頂き、食べ物を大切にしたり、食べられることはとても有難いことだと感じたりできる子ども達の心も育てたいな、と思います。難しいかもしれませんが、給食費値上げとともに考えて頂ければと思います。宜しくお願い致します。</p>	<p>給食費の改定に関してご理解をいただき、また、残飯についてのご意見をいただきありがとうございます。</p> <p>佐久市では各センターにおります栄養教諭等が、食育の中で、成長期にある児童生徒の健康や発達のためにかかせない栄養バランスを考えて献立を作成しており、クラスごとの発育状況を把握し学校と連携してアセスメントしており、学校給食を含め、食事の大切さを伝えております。</p> <p>残飯を減らすため、給食の味付けや調理方法の工夫をはじめ、「食」について興味を持ってもらうため、郷土料理や友好都市の料理など、バラエティに富んだメニューを提供したり、地場の農産物についても積極的に取り入れています。</p> <p>また、残食の中では主食が多くです。主食が進むメニューも大切ですが、主食をきちんと食べる大切さを教室訪問でも伝えていきます。</p> <p>一方で、佐久市では、食品ロス削減の取組として、学校給食の調理過程で発生する生ごみや学校給食の残滓を白田にある堆肥センターへ搬入し、堆肥とする活動も行っております。</p> <p>「堆肥にする」から残飯が出てもいいとは考えておりませんが、こういった取組も行い、教育委員会、学校、給食センターが一丸となって食品ロスの削減や残飯の減量を目指しております。</p> <p>給食費の改定により、現在のバラエティに富んだメニューを維持し、より一層、児童生徒が「食べたい」と感じてもらえる給食を目指してまいります。</p>

学校給食費改定についてのご意見

1 各センター運営委員会の実施概要

(1) 委員会の開催期間

令和5年11月28日(火)から令和5年12月4日(月)

(2) 参集範囲

ア 委員構成：各校学校長(校数)・PTA代表(校数)・学校医(1)・学校薬剤師(1)・学校教育部長(1)

イ 各センターの出席状況

南部センター 11/30(水) 銭谷泉小学校長(会長)以下14名(17名中)
 北部センター 12/4(月) 黒沢中佐都小学校長(副会長)以下15名(19名中)
 白田センター 11/29(水) 小林白田中学校長(会長)以下5名(7名中)
 浅科センター 11/28(火) 佐藤浅科中学校長(会長)以下6名(7名中)
 望月センター 11/29(水) 中山望月中学校長(会長)以下3名(7名中)

(傍聴者：小林松子議員)

(傍聴者：小林松子議員)

(傍聴者：吉川友子議員・小林松子議員)

2 意見とそれに対する市の考え方

センター	番号	発言者	ご意見・ご質問	回答
南部センター	1-1	クリストファー(泉小PTA)	19市で公費負担も少なく、給食費が高い理由は、単にいいものを食べているということか。	(例えば塩尻市など) 自校給食のところは高い傾向がある。
南部センター	1-1	クリストファー(泉小PTA)	主婦なので、買い物に行っても2割増しぐらいになっている。パンも、長野県産の小麦と北海道産の小麦とのこと、こういうのは他では買うことができない。もっと保護者に広めてもらえば理解が得られると思う。	意見として承る。
南部センター	1-1	佐藤(中中PTA)	親は知らないことに不安を感じる。ただ40円上がるだけだと数字しか見ないので反発するが、お便りだけでなく、説明会を開き、データを示したら理解が得られやすいのではないか。お便りだと、読まない、読んでも理解できないことも説明会で話してもらえばわかってもらえる。説明会を行った方がいいのでは。	期間がタイトであり、対面での開催は考えていない。資料のわかりやすさ、動画配信による説明を考えている。意見はメール等で集約する方向で検討している。
南部センター	1-2	石山(岸小PTA)	資料については、佐久市だけに絞った方がいいのではないかと感じる。	保護者への説明では19市についての説明はしない。現在の窮状を示し、説明していく。
南部センター	1-3	塚田(野中校長)	学校でも説明をしてもなかなか伝わらない。学校の集まりに来て説明してもらいたい。スケジュールについて、3月に決まったことを、どのように伝えていくのか心配している。休みに入ってしまうので、もう1か月早ければ学校も対応しやすい。	
南部センター	1-4	金山(城山小校長)	2月に来年度の引き落としについて保護者に説明するが、3月だと時間的に厳しい。	事務レベルで学校と協議し対応していく。議会の関係はご理解いただきたい。給食費の決定は教育委員会が行う。市の財政的支援は3月になる。2段階の話になる。
南部センター	1-5	クリストファー(泉小PTA)	情報発信について、学校毎に対応してもらえるのか。	動画配信等を使い、同一の対応としたい。
南部センター	1-6	石川(野小校長)	値上げは原材料費であり、上げるのは致し方ない。施設費、人件費、施設整備費が入っていない。税金で賄われている。40円の値上げは妥当であるし、激変緩和措置、苦しい家庭は就学援助費で対応している。情報を隔から隔まで伝える必要があるのか。野小では先日、保護者会があったので、またPTAを集めて説明は(集まる方も大変で)難しい。動画配信をして、まだ説明が必要と感じる人だけ集まってもらえばよいのではないかと。	意見として承る。

北部センター	2-1	高橋（佐平浅小学校長）	説明については「なるほど」と思った。これからも物価が上がっていくと危惧している。学校でも旅行貯金の見直しをしている。毎年バス代が上がっている。R7、8年までの金額があるが、これでも大丈夫なのか、今後どんなイメージでいるか聞きたい。	現在の状況から、今後についてはおおむね5年に1度改定のタイミングと見ている。10年あいてしまったが、5年前はちょうど消費税が10%になったときに、軽減税率がかかり、8%に据え置かれた。そのため、増額を留めた。 今後、あまり急激に上がる場合は、5年に拘らず検討する。
北部センター	2-2	荻原（中佐部PTA）	中学生女子は小食の傾向にあると聞いているが、現状はどうか。	クラスにより様々で、全部食べているクラスもあれば残ってくるクラスもあり、小学生高学年ぐらいから小食の傾向がある。残滓量としてはそれほど増えていない。残滓はR3から白田の堆肥センターに持ち込んでおり、そういったリサイクル活動にも貢献している。
北部センター	2-3	真木（東小PTA）	値上げは妥当だと個人的には思う。NHKスペシャルでやっていたが、農家が資材の高騰を価格に転嫁できず、離農につながっているとやっていた。（国内から）牛乳がなくなるとか、食の安全を守るためにも、給食を守っていく観点もある。現在の状況を説明することは大事だと思う。5年で見直すとの話だが、フレキシブに対応してもらいたい。現在の状況が続けば、作るのがキツイ、中間の人（販売する人）がキツイ、食材を供給している人達がキツイになってしまう。	意見として承る。
北部センター	2-4	森泉（岩小校長）	米飯の方が安価であれば米飯を増やすのは。	米の消費を増やすという話も出たことがあるが、バランスを考えると難しい。また、パン屋も給食での提供がなくなれば廃業につながりかねない。かなりの調整が必要だと考える。
北部センター	2-5	森泉（岩小校長）	塩尻市は週5日米飯給食（和食の推進）。こちらに来てから米飯がベチャベチャだったり、固い等がある。	米飯について、お米を炊くのに、食缶ごと炊いていることもあり、仕上がりに差が出てしまうこともある。改善に努める。
北部センター	2-6	森泉（岩小校長）	周知方法についてもききたい。	周知方法はタイムスケジュールがタイトなため、集まった説明会は考えていない。動画配信による説明を考えている。12月中に実施する。
白田センター	3-1	小林会長	特に「参考資料（番外編）」は、イラストや図表を用いて説明していてわかりやすい。保護者への説明にも使ってもらいたい。	保護者には、分かりやすい資料でアナウンスできればと考えている。今回の資料より文字のボリュームを減らして周知したい。
白田センター	3-2	佐々木部長	いつ頃周知するのか。	12月中に実施する。
白田センター	3-3	小林会長	栄養士や他のセンター職員は、食材の安いものを利用したりして、爪に火を点すように、やりくりしていると聞いている。1食当たり40円給食費が上がるとすると、1年間で1人当たりおよそ8,000円上昇する。3人いれば、24,000円上昇するというのを、10月の学校給食費検討会議で発言した。令和6年度の市が負担する補助金算定総額は、およそ30,000,000円で大きい額になる。1人当たり8,000円上がるところ、資料では令和6年度と令和7年度に一部補助が予定されていて、保護者のことを考えているということが分かった。多くのものの価格が上昇している中で、よくやっていると思う。 資料では、令和8年度から小学生は、補助金なしの1食あたり310円の給食費となるが、その金額で何年やっていけるのか。令和9年、10年でまた給食費を上げると、見通しが甘いと言われかねない。	現行の給食費は平成26年度に改定され、10年というスパンがあった。それまでは5年が一つのスパンというのが基準だった。今回だけ期間が10年に至った。この間消費税が10%に上がったが、食材等は軽減税率が適用され、税率はほぼ8%で大きく変わらなかった。今の段階では、先々は読めない。物価の上昇により5年待たずして給食費を変えることもあり得る。 先の状況が見通しにくいのが、上昇率が10%を超えてくればやむを得ないと考えている。
白田センター	3-4	小林会長	19市の状況を見ても、50円近くの差がある。中学校では、現在補助金の額を含め給食費は1食あたり330円。給食費改定に踏み出さざるを得ないと理解する保護者は多いのではないかと。次回運営委員会で給食費改定について決定したい。	

浅科センター	4-1	前田 (小学校PTA会長)	子どもが3人おり、人数が多いと負担も大きい。だからといって払わないとはできない。仕方ないと思う。物価高騰が続けばまた値上げか。	5年ごとの見直しを考えている。消費税の増税のタイミングで検討をするはずだったが、軽減税率が適用されたため改定を見送った。概ね5年を目途に確認していきたい。
浅科センター	4-2	佐藤会長	参考資料がとても分かりやすく良い。10年の中で、食材の工夫で対応してきたとすると、これ以上、工夫のしようがないのかと思う。見直しを5年程度で行っていくことで対応してもらいたい。	賃金が上がらない中の値上げになってしまう。物価高騰に対して賃金が追いつかない。賃金も追いついていけば負担感が減るのでは。
浅科センター	4-3	成沢 (中学校PTA会長)	現在の給食費の未払いはあるのか。	児童手当からの天引き制度が始まっており、ここ2~3年は未収金は発生していない。
浅科センター	4-4	成沢 (中学校PTA会長)	値上げにより、未払いの問題が発生するのではないかと懸念している。	天引き制度を積極的に利用していただいているためあまり心配はないと考えている。
浅科センター	4-5	寺岡 (学校医)	輸入食材は使っていないか。	魚については輸入品もある。国産は高くて手が出ない。
浅科センター	4-6	佐藤会長	浅科センターの現在の運営状況は。	去年の献立で残額10万だったもの、今年は6000円不足のような状況。御祝献立にケーキを付けたいが付けられない等は起きている。コッペパンを食べるのにジャムやバターを付けたいが費用的に付けることができない。
望月センター	5-1	中山会長	物価高、日々センターの努力により、毎日、美味しい給食を提供いただいている。他市も同じではないか。年200食の給食は子どもの食事のかなりを占めている。金額を上げないと質を落とすことになるのではないかと、そう考えると仕方ないと感じている。前回、検討会議で説明資料をわかりやすくしてもらいたい、保護者の負担軽減について話があったが、今回はそのあたりの説明もあった。今後、負担軽減策についての見直しはどうか。	議会全員協議会で議員説明を行っている。ただ、議会のことなので、これ以上は言えないというのが現状です。
望月センター	5-2	掛川 (望小教頭)	激変緩和措置について、毎年上がるとの印象を受ける。来年度40円上がるというところを強調して認識してもらうことも大切かと思う。	激変緩和という言葉だけでは伝わりにくいかと考えている。保護者への説明は誤解のないよう、丁寧に行っていく。